

第7号 (2011年度 後期)

# 養寿寺だより

発行日 平成24年1月1日  
 編集・発行 真宗大谷派 養寿寺  
 〒473-0924 豊田市花園町屋敷56  
 TEL&FAX (0565)52-4470  
 E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp  
 ホームページアドレス  
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~n-makino/>

## 『自分の心を映す鏡があったら』

「何なの？その頭。ちよつと鏡で見てみたら！」人から言われて鏡に映してみると、確かに髪の毛がへんてこに立っている。こんな経験は誰しもあるものです。鏡はごく当たり前の日用品。しかし、自分の姿を自分で確認することが出来る鏡とはたいへんありがたいものです。周りの人からのきびしい指摘でも頷くことができるからです。ところで、「何なの？その考え方。ちよつと鏡で見てみたら！」と人から言われたらどうでしょう。自分の考え方を否定されたように思いカチンと頭にくるはず。もっともそれ以前に、そんな魔法の鏡はありません。結局、おたがいはげしく言い争うことになるかもしれません。自分の頭の中にある考えや気持ちは、冷静に見つめることが難しいものです。その上、「正しい」「間違っている」のどちらかに分けたい気持ち強いよう。もちろん、分けられるものもありますし、分けるべきものもあります。しかし、重要なのは、はっきり分けられないものもたくさんあるということです。「あなたは間違っている」「いいや、間違っているのはそっちの方だ。」「言い争い」といっては、「正しいもの」のぶつかり合いだと言っても過言ではありません。

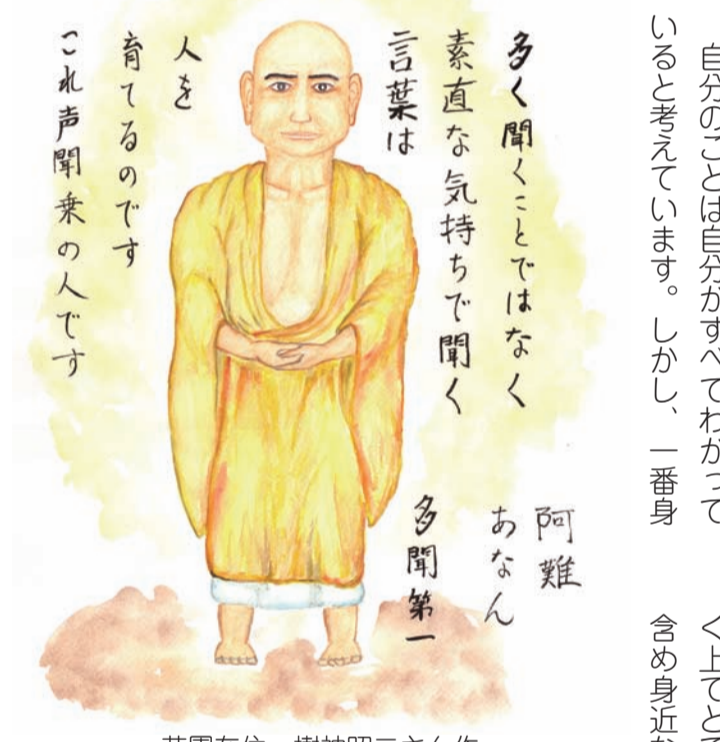
一年ほど前、愛知県内の養鶏場で鳥インフルエンザに感染したニワトリが発見されました。感染の広がりを防ぐために殺処分という措置がとられ、関係者の努力により感染拡大は未然に防がれ、終結宣言がなされました。我が家でも、殺処分のニュースがテレビで流されたとき、家族全員が「ニワト

りもかわいそうだね」などと感想を言っていました。数日後の夕食に、鶏の唐揚げがなされました。それを見た私の子どもや私が、「この鶏の唐揚げ、おいしそうだね」などと言ってしまい、ドキッとしてしまいました。殺処分となると「かわいそうだね。」鶏の唐揚げになると「おいしそうだね。」同じニワトリでも、私たちの都合でとらえ方が大きく異なります。ニワトリの立場に立てば、どっちもイヤだとなるはずなのですが、「かわいそう」「おいしいそう」というその場その場での正直な感想は、こうして二つの場面を並べてみて初めて考えさせられるものです。逆に言えば、当たり前のことを言うに過ぎず、こんなことに疑問を持つことはめったにありません。どうやら、私たちの考え方は、私たちが考えているほどいろいろな立場を踏まえているとは言えないようです。「あなたのために言ってあげるけど」で始まる助言は、相手のためだけに自分の都合も無意識に含まれているように感じます。

近でよくわかっているはずの「自分」が、実はあまりわかっていないのではなないでしょうか。自分のことを卑下したり自虐的に言う人が、実際には他人から傷つけられるのを怖がっている場合があります。また、すぐに怒鳴ったりはげしく怒ってしまふ豪傑タイプの人に、実は気の小さい人が多いとも言われます。「この年になると自分なんかはどうでもいいんです。若い方どうぞ前に」と言って写真撮影に臨んだご婦人も、写真ができあがるとまず自分を捜してしまふのだそうです。生きること絶望するとは、夢や理想を持ち、自分の生き様に対するこだわりが強いからこそひどい状態におちいつてしまふ背景があるようです。きっと私たちは、思っている以上に「自分」のことが大好きなんですね。

「私たち自身の愚かな面に気づく」と言って良いかもしれません。少々乱暴な言い方をすれば、善人はかりがいの家庭はケンカが絶えませんが、悪人ばかりの家はみんな笑顔で暮らしているのです。ここでの善人とは、自分は善人で賢明な人間であると信じ込んでいる人で、悪人とは、自分の悪い面や愚かな面を常に意識している人です。とはいっても、なかなか悪人にはなれません。けれども、自分の心を映す鏡があったらどうでしょう。自分の考えがヘンテコに映っている時にはすぐ気づくはず。また、私たちは「自分を知ることは大切だと思っているにもかかわらず、どうしていいのかわからないのが現実です。まさにお寺の法話とは、聞いていただく方に「自分を省てみてください」と自分の心を映す鏡をそつと差し出すことがその役割であり、目指しているものだと考えます。そんな鏡を覗いてみたら頭にツノが生えているのが映っていることだってあるかもしれません。

(養寿寺住職)



花園在住 樹神昭二さん作

自分のことは自分がすべてわかっていると考えています。しかし、一番身近な人たちの関係が良好であることは、財産や地位よりも幸福であることを実感できる要素なのだと実感されています。

さて、私たちのお寺は、法話つまり仏教や真宗のお話を聞いていただくことを大切にしています。法話とは「知識を身につける」「賢くなる」ことを目的としているものとは違います。あえてその狙いを申しあげるなら、



法話の様子



ブータンの地方のお祭り  
仏画のご開帳と法要の様子



法要での出番を待つ僧侶

**幸せってなに？ ブータン王国を訪ねて**

ヒマラヤ山脈のふもとにある小さな国、それがブータン王国であり、十月にその国を訪れる機会がありました。十一月に、国王が王妃とともに日本各地を訪問されたので、この国を知った方も多いでしょう。

ブータンは人口は七〇万人ほどで、豊富な水量を生かしてインドへ電力を輸出するのが最大の産業であり、次いで観光が外貨を獲得しています。経済的には貧しい国に分類されるかもしれませんが、しかし、ブータンの人々は、「私たちは幸せ」と声をそろえて言います。

日本でよく話題になるGNP（国民総生産）に対して、ブータンは「こころの幸せ」を示す指標GNH「国民総幸福量」を提唱し、経済的・

**アジアの仏教国を訪ねて(1)**

横尾 明親

(略歴)  
真宗大谷派教師。養寿寺住職のよき友人であり尊敬する先輩。現在も大学で仏教を学ぶかたわら、仏教国を訪れている。

物質的豊かさを追求することで、こころの豊かさを失ってはならないと、独自の政策を続けています。その考え方の基礎となっているのが、仏教の世界観であり、仏教の死生観であります。チベット仏教を国教とするこの地では、人生はくり返される輪廻の中にあり、すべてのものがつながりあっていると考えられています。ブータン人は、あらゆる生き物の存在を尊重し、自らがその生命をとめることを避けようとします。そのため、かれらはヒルが肌について血を吸い終わってから自然に返します。ツルの越冬地では、電柱を立てるとツルの飛来を妨害するという住民の意思で、電化が中止され、電気を望む人には太陽光発電の補助金を支払うことになりました。発電といっても、夜一部屋を照らす程度です。この地では、ツルは輪廻世界を象徴するものと考えられているのです。「電気をとるか、ツルをとるか」こんな問いが村人から生まれます。私たち日本人には「電気のない生活」を選ぶことは考えられませんが、あらゆることにつながるのであれば、他者の不幸を前提とした自分だけの幸せはありえないという生き方が育まれています。

ブータンの若き国王は「大勢のブータン人が寺院などを訪れ、東日本震災で亡くなられた方々への供養と被災した方々になぐさめを与えよう」と心こもったお勤めを行っていました。その光景を目にし、私は深く心を動かされました。「と述べられました。地震と津波で苦しむ人びとつなかりを感じ、その不幸をもに悲しみ、慰めようとするブータンの人々から、「自分のためだけにない幸せ」を感じさせられました。

経済的な成長を求めることは、「本当の幸せ」のために役立つのでしょうか？ ブータンの旅のなかで、生き方を問い直される日々でした。

た。「と述べられました。地震と津波で苦しむ人びとつなかりを感じ、その不幸をもに悲しみ、慰めようとするブータンの人々から、「自分のためだけにない幸せ」を感じさせられました。

経済的な成長を求めることは、「本当の幸せ」のために役立つのでしょうか？ ブータンの旅のなかで、生き方を問い直される日々でした。



本年度報恩講での菊花



寺田史郎さん

**わが町のヒーロー(1)**

私たちのまわりにいる人の中で、特定の分野で活躍されている方や地域に貢献されている方にスポットライトをあて、紹介していくコーナーです。

**菊作り名人 寺田史郎さん**

養寿寺の報恩講になると境内の一角に見事な菊の花がたくさん展示されます。この菊を作っている人が、今回ご紹介する寺田史郎さんです。

現在、八十才。菊作りを始めて四十年以上にもなるそうです。全国的にも屈指の菊作り名人で、平成二十年には、一番権威のある全国大会で防衛大臣賞を受賞されました。県内の大会では常に上位に入賞し、毎年、全国大会に何鉢ものすばらしい菊花を出品されています。

菊の花といっても数多くの種類があり、それぞれに応じた温度管理や水の与え方、そして植え替え作業など、栽培するというよりは作り上げていくと言った方がいかもしれないとのこと。審査会の前には徹夜で菊の花を見守り、調整することもあるそうです。

奥様といっしょに菊を育てながら、多くの人に菊の見事さを伝えたいと、もう来年度に向けて菊の栽培の準備をはじめたそうです。

**平成二十四年 年忌 早見表**

(亡くなられた年)

一周忌	平成二十三年
三回忌	平成二十二年
七回忌	平成十八年
十三回忌	平成十二年
十七回忌	平成八年
二十三回忌	平成二年
二十七回忌	昭和六十一年
三十三回忌	昭和五十五年
三十七回忌	昭和五十一年
四十三回忌	昭和四十五年
五十回忌	昭和三十八年

遠慮無くご相談ください。  
電話 (0565) 5214470

**みなさんの手作り作品を  
お寺で飾りませんか**

「開かれたお寺を！」という願いを大切にしています。その一環で、ぜひみなさんの手作り作品をお寺にお貸しください。多くの方々に鑑賞していただくことができますし、著名な芸術家の高価な作品よりも、お寺に関わる身近な方の作品の方が養寿寺の目指すべき方向にあっていように思います。現在は、花園町才兼任住の寺田シズ様制作の和紙によるすばらしい絵を庫裏の玄関に展示しています。



### 本年度 御依頼割当のご報告

本年度 本山からの依頼額  
九十五万五千七百円  
(同朋会員志四万二千五百円含む)

みなさまのおかげをもちまして、早期に完納することができました。心より御礼申しあげます。

なお、この本山経常費につきましては、本山収骨・院号申請に対する御懇志を充てさせていただきます。

- (一) 本山須弥壇収骨  
寺田 朗様 寺田喜代江様

#### (二) 院号申請

- 寺田 朗様 寺田喜代江様
- 寺田宗市様 伊予田 桂様
- 都築貴裕様 寺田啓子様
- 加藤久晴様 原田信人様
- 長坂雅和様 (順不同)

- (三) 同朋会員志については  
花園仏教世話方会会計様より

### 養寿寺施設や備品の充実についてのご報告

- (一) 本堂襖の張り替え代

↓ 九万三百円

- (二) 事務室の空調設備設置代

↓ 十一万八千三百二十五円

- (その他) 養寿寺座敷建て替え

前任職在任中に、養寿寺座敷の建て替えを検討しておりました。修繕はされているもの、すきま風の問題、砂やホコリの落下など、傷みがひどくなってきました。養寿寺総代の方々

とも相談し、ご了解を得て、この度、座敷の建て替えをすることになりました。順調にいけば年明けには業者に依頼し、着工となり、来年の報恩講には新しい座敷が完成する予定です。なことぞ、ご了承いただきますようお願いいたします。



新しくなった襖



建て替えられる座敷

なお、今回の座敷の建て替えも含め施設充実の費用については主に養寿寺に御志納いただいた祠堂金より支払っております。本年度は、

- 養寿寺前坊守 牧野友子
- 寺田良彦様 寺田孝幸様
- 樹神重雄様 稲垣義則様

右記の方々より祠堂金を御志納いただきました。心より御礼申しあげます

### 本年度七月から十二月までの主な行事ご報告

#### 一・法話会

七月と十月に同朋会主催の法話会。法話の後は、同朋会の方々で用意いただいたお齋(と き)をいただきました。また、九月には仏教世話方会主催の法話会が養寿寺庫裏で執り行われました。たくさんの方々に出席いただきました。

夏の法話会



花園仏教世話方会のみなさん



#### 二・暁天講座

八月八日～十日の三日間、恒例の暁天講座を実施いたしました。朝五時四十五分からの勤行。そしてその後約一時間の法話を聞くというものです。三日間とも百人近い方々が参加されました。内容も、通常の法話だけでなく、親鸞聖人御絵伝絵解きや介護・福祉の専門家の話など、少しずつ新しい試みをしております。

勤行



親鸞聖人御絵伝絵解き



#### 三・永代祠堂法要

九月二十三日、本年度養寿寺永代祠堂法要を執り行いました。この仏事は、仏の教えが永代まで伝わることを願って寺院護持にご支援いただいた方への感謝の法要であり、参詣される方々にとっては、大切な方が亡くなられたのを機縁とし祠堂金を納めていただきますので、亡き人の追悼法要の意味合いがあります。本年度もは九月初旬に案内状を送り、約九十名の方に参

詣いただきました。なお、法要の後は、法話とお齋があります。お齋については、『精進料理』をお出ししております。



法話の様子



#### 四・報恩講

去る十月二十八日～三十日の三日間、養寿寺報恩講を厳修しました。天候にも恵まれ、多くの方々に参詣いただきました。勤行については、本年度も好評につき『DVD同朋唱和勤行集』をスクリーンに映すようにしました。法話については、一日目養寿寺住職、二日目豊田市守綱寺坊守 渡邊尚子先生、三日目京都市在住作家の和田真雄先生でした。特に和田先生のお話は、真宗の教えを講談と落語の要素を取り入れ、わかりやすく伝える新しい法話の形であると思われました。

本堂前



庫裏でのお齋





バスから降りる参加者の方々



本山御影堂

十一月二十八日(月)、本山の報恩講参拝および研修旅行に養寿寺から十五名の方に「ご参加いただきました。二十八日は報恩講最終日、しかも聖人七百五十回忌の報恩講ですので、本山はたいへんな人出でした。参加者の方のご協力で、大過なく充実した団体参拝となりました。

五. 高岡組門徒会主催 本山報恩講 団体参拝

なお、参詣いただき、御志納いただいた方の人数は、一九四名。御志納いただいた額は、五十一万七千円でした。ご参詣ならびに御志納ありがとうございました。



音楽法要



和田先生

音楽法要についても、毎回新しい曲を組み入れていただいております。お斎は、ほぼ全員のみなさんに椅子に腰かけておとりいただけるので喜ばれています。



八月二十四日から二十七日まで四日間、お寺近所の子どもを対象に、早朝ラジオ体操とお勤め『正信偈』の練習を実施しました。初日は少なかったのですが、日に日に参加者が増え、最終日は二十名ほどになりました。『花園郵便局様』などのご協力も賜っております。来年も実施する予定です。

七. 戦没者追悼法要



ラジオ体操の様子



お経のお稽古

十二月十日に花園町戦没者遺族会主催『花園町戦没者追悼法要』を厳修いたしました。本堂南側に先の大戦で国のために亡くなられた方のお写真が掛けられています。戦後六十七年が経過しました。この間、あの悲劇は繰り返されていませんが、非戦の誓いと平和への願いを込めた特別な法要と位置づけ、この追悼法要をお寺としても大切にしています。

〈ご本尊・阿弥陀さま〉



【回答】仏さまにお供えするのだからこのお気持ちで、仏さまを受け取り手にして置いてしまふことが多いようです。お気持ちはわかりますが、置き方は逆です。左の写真をご覧ください。そもそもお内仏(仏壇)の荘厳とは、仏具やお花でお内仏を調えることです。この荘厳も仏事の準備ではなく大切な宗教的行為の一つです。そして『お供え』も荘厳の一つです。例えば、仏花はどちらを向いていますでしょうか。阿弥陀さまではなく私たちを向いていますね。これには、阿弥陀さまに私たちが何かを与えるのではなく、問題の多い、悩み多き私たちがこそが阿弥陀さまから見守られ、願われているのだというものが背景にあります。特に浄土真宗はこのことを大切な教義のひとつとしています。また、年忌法要などの仏事に志として出すのし袋や封筒には『御霊前』ではなく『御仏前』と書いてお供えしましょう。(住職記)

【質問】『お供え』はどちらの向きに置けばよいのですか？

仏事にまつわるエトセトラ①
浄土真宗の仏事に関していろいろな質問があると思います。その質問のいくつかについて私の知っている範囲内で回答させていただきます。コーナーです。

【編集後記】
『養寿寺だより』への感想やご意見もぜひお聞かせください。みなさんの要望を取り入れながら、さらなる充実を図っていききたいと思っております。
・東日本大震災の救援金を養寿寺で募っております。十一月末現在で、十四万七千七百八十五円に達しました。岡崎教務所を通じ、みなさんの温かい気持ちが被災地へと届けられています。

【平成24年6月までの主な予定】
12月31日(土) 除夜の鐘 午後11時45分から
1月1日(日) 修正会 午前0時
1月4日(水) 書き初め会 午前中
3月24日と25日 蓮如忌(2日間のみ)
第1日(土) 午後のみ 勤行 法話 養寿寺住職
第2日(日) 午前 勤行 お斎(とき)あり 午後 音楽法要
落語 笑福亭仁智 師匠 と お弟子さん一人
4月6日(金) 花まつり(甘茶・抹茶をお出ししております)
5月8日(火) 花園仏教世話方会主催 春の法話会 講師 伊奈祐諦先生
6月18日(月) 養寿寺同朋会主催 初夏の法話会 講師 堀田 護先生
《基礎からの仏教講座》... 毎月最終日曜日 午後6:55~7:50
参加無料 場所は庫裏にて
スクリーンを使用しながらの肩の凝らない仏教講座です。ご参加ください。